

日本語を英語に訳した時の違った文

(Different Sentences Resulting from Japanese to English Translation)

フ・リサ

Lisa Hu

82-373 Structure of the Japanese Language

1. はじめに

私のプロジェクトのトピックは、日本語は英語に訳した時どんな違った文を作れるのかということだ。中学生の頃から日本のアニメやドラマなどをよく見た。前に、英訳はほとんどファンの作ったものだったけど、日本のメディアはアメリカでどんどん人気になってから、プロの作った英訳も現れた。プロの作った英語に訳した字幕とファンの作った字幕には違いがある。その日本語の文は、人によって意味が違うようだ。人の分かった違う意味を比較するために、英語の字幕は二つを調べたいと思う。一番面白いことは、日本語で主語や目的語をよく使わないけど、英語で使わなくてはいけないから英訳によく見える。ファンの作った字幕とプロの作った字幕では、選んだ主語や目的語は同じかあるいは違うかを調べようと思う。資料は、フジテレビの2014のドラマの「ディア・シスター」で、ウェブサイトの「Dramafever」(URL:<https://www.dramafever.com/>)と「Viki」(URL:<https://www.viki.com/>)の英語の字幕を使って日本語のダイアログと比べる。

2. 日本語を英語に訳した時どんな文を作れるのか

2.1. 主語と目的語の必要

まず、日本語と英語の主語や目的語の必要性を比較したいと思う。例は「ディア・シスター」の第一話にある。二つの英訳字幕も書いておく。最初の文は主人公の深沢葉月の同僚が葉月を見て言ったことだ。

(1) どうしたの？いらいらしちゃって。声でわかるのよね。

Dramafever: What's wrong? You're stressed. I can tell by the tone of your voice.

Viki: What's going on? You look irritated. I can tell from your voice.

例1の日本語では、「あなた」という主語と「私」という主語を使わないけど、英語で使う。次の文は、主人公の妹の美咲が言ったことだ。葉月は仕事から帰った時、長い間に会っていなかった妹に家で会った。葉月はどのように美咲が家に入ることができたのかが分からなかったから、美咲は説明した。

(2) 大家さんに借りたんだもん。

Dramafever: I borrowed a key from your landlord.

Viki: I borrowed it from the landlady.

例2の日本語には関係目的語の「大家さん」があっても、主語と直接目的語がない。英語には、その三つが全部ある。日本語は動詞的な言語で英語より名詞の主語や目的語が少ない。

2.2. 何が主語や目的語になるか

次に、上記の例を説明して英語で何が主語や目的語になるかを調べる。例1では、二つの英訳は似ていて、主語の「You」と「I」を使う。日本語には主語がない。文脈によると、誰が「いらいら」していて誰が「声でわかる」のかが分かるからだ。でも、英語では文脈だけではそのことが分からないから、主語を使わなくてはいけない。例2の二つの英訳も似ている。主語の「I」を使って、関係目的語の「landlord」や「landlady」を使って、Dramafeverの英訳では直接目的語の「key」を使っているがVikiの英訳では同じ意味の「it」という代名詞を使う。日本語には、その三つの中で間接目的語しかない。間接目的語の「大家さん」だけを言っても、誰が何を借りたかが分かる。でも、もし英訳に間接目的語しかなかったら、「borrowed from landlord」になって、意味が全然分からなくなる。日本語のダイアログで鍵のことについて話さなかったから、英訳した人は何について話したかを探すためにドラマを見なくてはならない。日本語のドラマを英語に訳するために、ダイアログの文脈が分か

るのが大事だけど、分かってても人によって英訳の意味が違うかもしれない。

2.3. 日英語の文化的見方の違い

最後に、日英語の文化的見方の違いについて書きたいと思う。英語は西洋の言語で、いろいろな物は世界になると思っている。日本文化によると、物より関係の方が重要だそう。だから、英語は名詞的な非省略言語で、日本語は動詞的な省略言語だ。英語では、物が大事だから、一番重要なことは多分主語だ。でも、日本語では、物より関係が大事だから、関係が分かれば主語を使わなくてもいい。主語や目的語の名詞の必要は、物が重要かは関係が重要かによって違う。

3. おわりに

英語は名詞的な非省略言語だが、日本語は動詞的な省略言語だ。英語では、物が一番重要だから、英語の文にはたいてい主語や目的語の名詞が必要だ。でも、日本語では、関係の方が重要だから、主語や目的語を使わなくてもいい。英語で主語を言わなければ、文の意味が分からない。日本語で主語を言わなくても、文脈によってと主語が分かって文の意味も分かる。でも、時々分かった意味は人によって違うかもしれない。英訳した時に、主語を言わなくてはいけないから、この違いが見られる。

データの出典

「ディア・シスター」のテレビドラマ（2014年）

https://www.dramafever.com/drama/4592/Dear_Sister/

<https://www.viki.com/tv/30275c-dear-sister>